

平成31年2月分「市民の声」一覧

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月22日	3月4日	<p>骨髄移植ドナー助成制度</p> <p>先日の池江璃花子さんの件で、骨髄バンクへの関心が高まっておりますが、静岡県は登録者数で全国47都道府県中41位という話も聞きました。</p> <p>その理由として、ドナーへの助成制度が整っていないのも理由のひとつと思います。</p> <p>国会でも骨髄ドナーへの環境整備を進めると言っていますが、現在、静岡県では静岡市、清水町、富士市、富士宮市の4つの自治体のみが助成制度があるようですが、沼津市は現在どのようにお考えでしょうか。</p>	<p>骨髄バンク事業につきましては、白血病などの治療困難な血液疾患の治療向上を目的に、公益財団法人日本骨髄バンクが、日本赤十字社、県等との協力により実施しているもので、静岡県のドナー登録者数は、平成31年1月末現在、目標9,000人に対し8,938人となっております。日本骨髄バンクのまとめによりますと、登録者数では全国17位であるものの、対象者人口千人当たりの登録者数では、ご指摘のとおり全国44位と低い数字となっております。</p> <p>本市におきましては、保健センターへのパンフレットの配架や、成人式におけるパンフレットの配布などにより、骨髄バンク事業の普及啓発に取り組んでおります。</p> <p>水泳競技・池江璃花子選手の白血病発症のニュースや、俳優・木下ほうかさんのテレビコマーシャルで、骨髄移植やドナー登録が注目されており、骨髄バンク事業の更なる普及啓発に努めていく必要があるものと考えております。</p> <p>お問い合わせの骨髄ドナーへの助成制度につきましては、国や県の動向を注視しつつ、先進自治体の事例について、登録していただける方や骨髄移植件数の増加に結び付く効果的な制度となっているかなど、調査・研究に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	健康づくり課

平成30年8月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月6日	8月22日	<p>沼津市健康診査 近年猛暑が続いており、胃の検査など水を飲むことができない検査を夏場にやるのは大変です。 検査期間を12月一杯までにしていただくなど、夏場より冬場に受診できるように配慮願えないでしょうか。 また、ここ何年か院長高齢で産婦人科の個人開業医がどんどん閉院しており、婦人科系の検査を気軽に受診できる病院がありません。 予約制の所も多く、生理不順の人は予約が非常に取りづらいです。 検査車の検診日や検診できる場所をもっと増やしていただけないか？ 胸部レントゲンの巡回ですが、毎年猛暑の八月で、短時間の巡回とはいえなぜ外出がづらい時間帯に巡回するのかと思います。(高温注意報の警報が出る時間帯など) 私はパニック障害があり、外出が困難で、できればもう少し涼しい夕方などに巡回していただきたいです。お年寄りもそう思っていると思います。また、新幹線より上の地域にも私の様な疾患を抱えた人や高齢者はいますので、新幹線より上の自治体の公民館も巡回していただきたいです。猛暑なので車で行くにも車が停められない場所だと、徒歩で行くしかないですが、徒歩でもこの猛暑では辛く思います。 また、サンウエル・農協などで、あちこち受診しに行かなくても婦人科を含めてまとめて受診ができる日なども何日か設けていただきたいです。そういう日が設定はされているようですが婦人科が対象外になっているので非常に利用しづらいです。 思い切って、会社に行っている人のことなども配慮し、夜間に受診できる措置なども取っていただけると、夏場も涼しく、終業後に受診ができるので受診率も上がるのではないのでしょうか。 ご検討をよろしく願います。</p>	<p>本市の実施する健診は、例年6月から10月を健診期間としています。その理由として、11月以降はインフルエンザの流行の可能性があり、医療機関での感染を避けるため医療機関と協議の上、健診期間を10月末日としています。</p> <p>次に巡回検診車についてですが、市民の皆さまが気軽に受診できる環境づくりの一つとして実施しております。実施にあたっては、会場・受診者数の実績などから現在の巡回場所・回数となっております。また、婦人科検診を含めた総合健診は平成28年度に実施しましたが受診希望者が少なく継続実施には至りませんでした。</p> <p>また、お勤めされている人も受けやすい環境づくりとして、大半の医療機関が休診となる土曜日の午後、日曜日などに集団健診、検診車とも数日ではありますが実施しております。しかしながら、休日の健診は受診者数が少なく全体の受診率向上にはつながっておりません。</p> <p>また、夜間の実施につきましては、受診者が見込めないことから本市のみならず他市においてもほとんど実施されていないのが現状です。</p> <p>まずは、4か月の期間の中でご自身の体調等を考慮し受診していただきますようお願いいたします。今年度は例年に比べ特に気温が高い日が続いておりますので、受診の際は体調等確認の上お越しください。</p> <p>今後とも、効果的な健診の方法について調査・研究し、多くの皆さまに受診していただけるような体制づくりを進めてまいります。</p>	健康づくり課
8月27日	9月10日	<p>健康に関するセミナーの活性化 高齢化に伴いがん患者は、年々増加する傾向にあり、静岡がんセンターはがん医療セミナーを無料で毎年7回実施している。 今月、8/18三島市民文化会館で開催されたので受講した。とても良い医療セミナーであった。 このセミナーは三島市、長泉町、裾野市、函南町等近隣市町が協賛し、セミナーを側面から支えている。 しかし、沼津市は協賛に名を連られておらず、寂しい限りです。 沼津市も良いセミナーを無料で企画し市民にアピール、そして、市民の健康を支えて欲しい。少なくとも、良いセミナーには協賛する等積極的に取り組んで欲しい。</p>	<p>静岡がんセンター公開講座(医療セミナー)につきまして、本市は協賛という形ではありませんが、ポスター掲示や申込チラシ配布による周知、広報ぬまづへの掲載などの協力をしているところです。</p> <p>また、健康づくり課での健康に関するセミナーとして、がん予防講演会を昨年に引き続き今年12月に実施予定です。昨年度は胃がん、今年度は大腸がんをテーマに、静岡県立静岡がんセンターの専門医を講師とした講演会の開催準備を進めております。</p> <p>さらに、今年度は静岡県立静岡がんセンター開催の「出張がんよろず相談」につきましても、本市での開催が決定しております。現在がんと闘病しておられるがん患者・家族からの相談を専門スタッフが個別で相談を受けるという内容となっております。</p> <p>2人にひとりがんになるといわれている中、市としましてもがん予防に力をいれ、無料の講演会を開催しており、今後とも、市民の皆さまの健康寿命の延伸を目標にがん対策を始めとする様々な健康に関する事業を積極的に企画実施してまいります。</p>	健康づくり課

平成30年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
5月9日	5月18日	<p>限度額適用申請書の扱いについて 身体に障害が生じ、本庁まで申請書を取りに来て提出するのも容易ではありません。電子申請で申請書をダウンロードして郵送で提出するなどの利便を図ることはできないでしょうか？ 電話でそうしたら申し出、申請書を送付するなどの方法も。 だれでもわかり、利用できるようにすればよいと思います。 郵送代は本人負担とすればよいかと思えます……以上改善を要望します。文書で回答をお願いします。</p>	<p>このたびは体の不調をおして来庁いただくこととなり、大変申し訳ありませんでした。 限度額適用認定証の交付申請につきましては、年齢、所得、保険料の納付状況などによって、交付の必要がない場合や、交付ができない場合があることから、お電話や来庁いただいた際に、交付申請の可否について確認した上で、必要な場合のみ申請していただいています。このことから、申請書のダウンロード対応は行っておらず、当課窓口で申請書を記入していただくことを基本の対応としております。 なお、来庁いただくことが難しい等のご相談をいただいた際には、郵送料はご負担いただくこととなりますが、郵便での対応を行っております。 今後は、郵便での対応が可能であることを市ホームページに明記する等さらに周知していくとともに、引き続き、市民の方々に寄り添った対応を心掛けてまいります。</p>	国民健康保険課

平成30年4月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
4月20日	5月15日	<p>がん検診料金について もうすぐ、がん検診の時期がきます。 がん検診の受診率は低いとニュースでも聞いています。 料金が高いと思います。 長泉は無料。三島や裾野など近隣地区に比べたら沼津市のがん検診受診料は高い。 こども医療費が高校生にまでなったことはとてもすごいことだと思いました。 次は働く大人世代にも魅力ある沼津市になってほしいです。</p>	<p>市のがん検診は早期発見・早期治療を目的に国の指針で定めている対象年齢を拡大して充実した内容で実施しております。また 非課税世帯の人や70歳以上の人は無料で受診することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん検診 国では20歳以上の女性隔年実施 沼津市では20歳以上の女性毎年実施 ・乳がん検診 国では40歳以上の女性隔年実施 沼津市では30歳以上の女性隔年実施 ・胃がん検診 国では40歳以上の人に毎年実施 沼津市では35歳以上の人に毎年実施 <p>しかしながら、ご意見のとおり、沼津市のがん検診の自己負担金は三島市、裾野市より高く、受診率は低くなっています。</p> <p>がん検診を無料化した自治体に受診状況を確認したところ、無料化当初は受診率が伸びたものの、その後は横ばいの状況であると聞いていますので、無料化が受診率向上に結び付いていないことから、まずは今以上にがん検診の必要性を周知していくこと、さらに受診しやすい体制づくりに努めていくことが重要であると考えています。</p> <p>今後は、県内の自己負担金の動向を注視しつつ、受診率の向上に努めてまいります。</p>	健康づくり課

平成29年12月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月15日	1月24日	<p>予防接種の助成について 子ども医療費無料化は大変ありがたいのですが、子どものインフルエンザの予防接種の助成も検討して頂きたいです。</p> <p>13歳未満は2回接種の為、小さい子供が多い我が家は予防接種するのに結構な金額がかかります。以前住んでいた市では子供も助成があり、欠かさず打っていました。しかし、沼津に引っ越して来てからは助成がない為、打ちたいのですが、金銭的に厳しいです。</p> <p>1番下の子はインフルエンザで入院までしました。小さい子供はお年寄りと同様に重症化しやすいと思います。ぜひご検討ください。</p>	<p>予防接種には、日本脳炎やBCGなどの予防接種法に基づき市町村に実施が義務付けられている定期予防接種と、御本人の意思で実施する任意予防接種(自由診療)があります。</p> <p>御意見にありますインフルエンザの予防接種は、高齢者はインフルエンザの罹患率が高く、肺炎等を併発し重症化しやすいことから平成13年度に65歳以上を対象に定期予防接種へ位置づけられたことを受け、市では接種費用の一部助成することといたしました。</p> <p>一方、こどものインフルエンザ予防接種については、副反応による訴訟が相次いだことなどから平成6年度に定期予防接種から外れ、任意予防接種へと変更になったことに伴い市では助成を打ち切ることといたしました。</p> <p>しかしながら、こどものインフルエンザワクチンについて、20～60%の発症防止効果や重症化予防への有効性があるとの調査結果もあることから、接種費用の助成につきましては、国の動向や市町村の助成状況等調査研究するとともに、インフルエンザの予防方法や流行状況などの周知・啓発の強化に努めてまいりたいと考えております。</p>	健康づくり課

平成29年8月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
8月14日	9月15日	<p>行政事務の効率化(IT導入)【検診結果通知の一元化】について</p> <p>行政事務の効率化(IT導入)についての提案です。 現在、検診結果のお知らせは、各検査項目ごと、ハガキで送られてくるが、数が多く煩わしい。これをデータベースに統一して一括管理したらどうか。</p>	<p>沼津市健康診査の結果通知について回答させていただきます。</p> <p>市民の方が、受診された結果につきましては、各医療機関等を通じ、市に送られ、最終的には市のシステムでデータを一元管理するとともに、結果通知の処理まで、一連の作業として実施しています。</p> <p>結果通知につきましては、健診結果に不安を感じている人や再検査が必要となった方などに一日でも早く結果が届くよう、速やかな処理を心がけているところです。</p> <p>このような中、結果の判定までに早いもので約10日、遅いもので約2か月と健診の種類によって相当の幅があり、また同じ方でも健診の種類により、受診日が異なることがあるため、健診結果の一括発送は難しい状況にあります。</p> <p>しかしながら、健診ごとに幾つもの結果が届き、煩わしいと感じられることは、もっともだと思いますので、健診結果の一括発送について、今後の課題として、調査、研究をしてみたいと思います。</p>	健康づくり課